

4 東京都と全国の動向

(1) 工業指数の年、四半期別推移

ア 生産指数

東京都と全国の平成27年の生産指数（原指数）の動向を比べると、東京都が前年比4.8%の低下、全国が前年比1.2%の低下となった。

業種分類別の寄与度を比べると、東京都で低下に寄与したのは、情報通信機械工業（△2.6%）、化学工業（△0.8%）などであった。

一方、全国で低下に寄与したのは、輸送機械工業（△0.5%）、情報通信機械工業（△0.3%）などであった。

平成27年の四半期別指数（季節調整済指数）の前期比を比べると、東京都では、第1四半期は上昇した後、第2四半期以後は3期連続低下となった。

一方、全国では、第1四半期は上昇した後、第2四半期及び第3四半期は連続して低下したが、第4四半期は横ばいとなった。（図38、表34）

図38 東京都と全国の生産指数（製造工業）の推移（平成22年平均＝100.0）

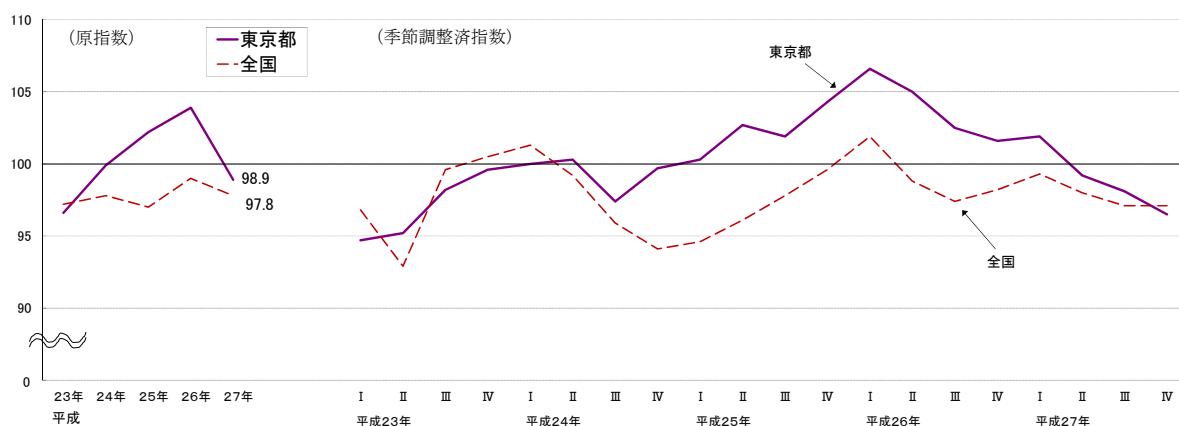


表34 東京都と全国の生産指数前年比の業種分類別寄与度

(単位%)

区 分	ウエイト		寄与度		区 分	ウエイト		寄与度	
	東京都	全 国	東京都	全 国		東京都	全 国	東京都	全 国
製 造 工 業 (全 体)	10000.0	9978.9	△ 4.8	△ 1.2	化 学 工 業	882.2	1277.4	△ 0.8	0.1
鉄 鋼 業	135.0	391.1	△ 0.0	△ 0.2	石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業	-	175.8	-	△ 0.0
非 鉄 金 属 工 業	109.2	232.5	0.0	△ 0.0	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	182.6	507.5	△ 0.5	△ 0.1
金 属 製 品 工 業	319.0	418.1	△ 0.7	△ 0.1	紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	77.4	203.6	△ 0.0	△ 0.0
は ん 用 機 械 工 業	279.0	418.6	△ 0.4	△ 0.2	織 維 工 業	115.3	183.4	△ 0.1	△ 0.0
生 産 用 機 械 工 業	620.7	701.2	0.3	0.1	食 料 品 工 業	713.8	613.9	0.2	△ 0.0
業 務 用 機 械 工 業	477.2	153.3	0.1	0.0	印 刷 業	1380.9	197.1	△ 0.4	△ 0.0
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	483.0	818.6	0.6	0.5	ゴ ム 製 品 工 業	236.9	161.0	△ 0.3	△ 0.1
電 気 機 械 工 業	1314.4	667.7	0.2	△ 0.1	皮 革 製 品 工 業	79.2	9.1	△ 0.1	△ 0.0
情 報 通 信 機 械 工 業	692.9	453.4	△ 2.6	△ 0.3	家 具 工 業	128.2	67.3	△ 0.0	△ 0.0
輸 送 機 械 工 業	1383.2	1912.4	△ 0.2	△ 0.5	木 材 ・ 木 製 品 工 業	28.1	58.4	△ 0.0	△ 0.0
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	166.0	315.8	0.1	△ 0.1	そ の 他 製 品 工 業	195.8	41.7	0.0	0.0

注1) 石油・石炭製品工業は、東京都では採用していない。

注2) 全国の輸送機械工業の指数は、東京都との比較のため「輸送機械工業（除、船舶・同機関、鉄道車両、航空機）」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

注3) 全国のウエイトは、鉱工業全体から鉱業の分を除いており、各業種ごとの合計（＝製造工業）が10000にならない。

イ 出荷指数

東京都と全国の平成27年の出荷指数（原指数）の動向を比べると、東京都が前年比4.4%低下、全国が前年比1.3%の低下となった。

業種分類別の寄与度を比べると、東京都で低下に寄与したのは、情報通信機械工業（△3.3%）、金属製品工業（△0.6%）などであった。

一方、全国で低下に寄与したのは、輸送機械工業（△0.5%）、鉄鋼業（△0.4%）などであった。

平成27年の四半期別指数（季節調整済指数）の前期比を比べると、東京都では、第1四半期は上昇し、第2四半期以後は3期連続低下となった。

一方、全国では、第1四半期は上昇した後、第2四半期及び第3四半期は連続して低下したが、第4四半期は上昇した。（図39、表35）

図39 東京都と全国の出荷指数（製造工業）の推移（平成22年平均＝100.0）

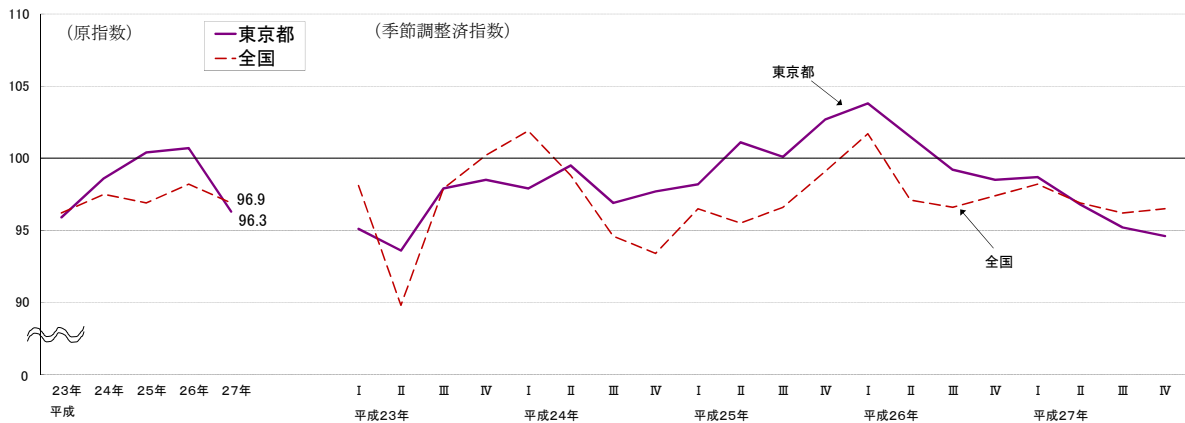


表35 東京都と全国の出荷指数前年比の業種分類別寄与度

（単位 %）

区 分	ウェイト		寄与度		区 分	ウェイト		寄与度	
	東京都	全 国	東京都	全 国		東京都	全 国	東京都	全 国
製 造 工 業（ 全 体 ）	10000.0	9985.7	△ 4.4	△ 1.3	化 学 工 業	539.1	1040.9	△ 0.4	0.0
鉄 鋼 業	199.1	638.7	△ 0.1	△ 0.4	石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業	-	624.8	-	0.1
非 鉄 金 属 工 業	139.1	322.5	0.1	△ 0.0	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	218.7	421.2	△ 0.5	△ 0.1
金 属 製 品 工 業	284.5	366.7	△ 0.6	△ 0.1	紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	91.3	212.2	△ 0.0	△ 0.0
は ん 用 機 械 工 業	254.0	360.2	△ 0.4	△ 0.2	織 維 工 業	89.0	133.4	△ 0.1	△ 0.0
生 産 用 機 械 工 業	520.5	571.4	0.2	0.0	食 料 品 工 業	657.0	579.3	0.1	△ 0.0
業 務 用 機 械 工 業	408.8	154.0	△ 0.1	0.0	印 刷 業	1404.2	68.1	△ 0.5	△ 0.0
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	555.7	711.1	1.1	0.7	ゴ ム 製 品 工 業	167.0	126.7	△ 0.2	△ 0.1
電 気 機 械 工 業	1301.2	570.5	0.3	△ 0.2	皮 革 製 品 工 業	78.2	8.3	△ 0.1	△ 0.0
情 報 通 信 機 械 工 業	992.2	489.5	△ 3.3	△ 0.2	家 具 工 業	117.1	54.7	△ 0.0	△ 0.0
輸 送 機 械 工 業	1584.2	2218.9	△ 0.1	△ 0.5	木 材 ・ 木 製 品 工 業	22.1	57.4	△ 0.0	△ 0.0
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	123.9	221.6	0.1	△ 0.1	そ の 他 製 品 工 業	253.1	33.6	0.1	△ 0.0

注1) 石油・石炭製品工業は、東京都では採用していない。

2) 全国の輸送機械工業の指数は、東京都との比較のため「輸送機械工業（除、船舶・同機関、鉄道車両、航空機）」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

3) 全国のウェイトは、鋳工業全体から鋳業の分を除いており、各業種ごとの合計（＝製造工業）が10000にならない。

ウ 在庫指数

東京都と全国の平成27年の在庫指数（原指数）の動向を比べると、東京都が前年末比2.6%低下、全国が前年末と変わらなかった。

業種分類別の寄与度を比べると、東京都で低下に寄与したのは、情報通信機械工業（△13.5%）、化学工業（△2.5%）などであった。

一方、全国では、低下の寄与度が最も大きかったのは、輸送機械工業（△2.5%）、上昇の寄与度が最も大きかったのは、生産用機械工業（2.6%）であった。

平成27年の四半期別指数（季節調整済指数）の前期比を比べると、東京都では、第1四半期及び第3四半期は低下、第2四半期及び第4四半期は上昇となった。

一方、全国では、第1四半期及び第2四半期は連続して上昇した後、第3四半期及び第4四半期は連続して低下した。（図40、表36）

図40 東京都と全国の在庫指数（製造工業）の推移（平成22年平均＝100.0）

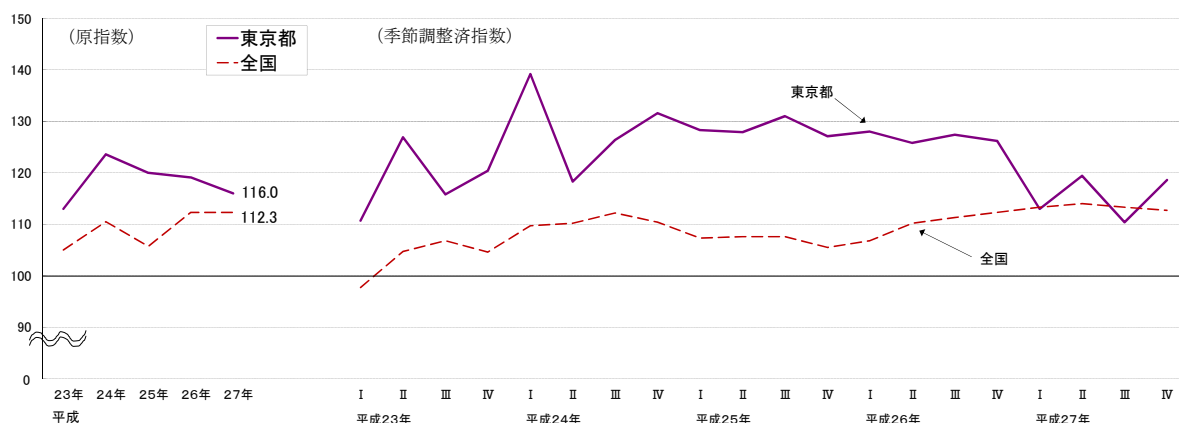


表36 東京都と全国の在庫指数前年末比の業種分類別寄与度

（単位 %）

区分	ウェイト		寄与度		区分	ウェイト		寄与度	
	東京都	全国	東京都	全国		東京都	全国	東京都	全国
製造工業（全体）	10000.0	9988.1	△ 2.6	0.0	化学工業	656.1	1413.1	△ 2.5	0.6
鉄鋼業	254.2	1382.7	0.2	△ 0.5	石油・石炭製品工業	-	497.5	-	△ 0.1
非鉄金属工業	296.6	306.5	0.0	△ 0.0	プラスチック製品工業	484.1	661.4	△ 1.5	0.2
金属製品工業	462.7	435.0	△ 0.8	△ 0.1	紙・紙加工品工業	135.7	340.3	0.0	0.1
はん用機械工業	196.6	244.1	0.1	△ 0.1	繊維工業	178.7	421.3	0.4	0.1
生産用機械工業	709.6	682.6	11.2	2.6	食品工業	133.6	326.5	△ 0.0	△ 0.0
業務用機械工業	1351.8	200.4	4.7	0.4	印刷業	-	-	-	-
電子部品・デバイス工業	308.2	368.3	△ 0.5	△ 0.1	ゴム製品工業	443.7	141.2	0.7	0.1
電気機械工業	677.1	371.0	△ 0.8	△ 0.3	皮革製品工業	255.8	19.3	△ 0.1	△ 0.0
情報通信機械工業	1211.4	234.2	△ 13.5	△ 0.2	家具工業	111.0	100.9	△ 0.1	△ 0.1
輸送機械工業	1384.9	1013.1	△ 0.3	△ 2.5	木材・木製品工業	30.0	126.4	0.0	△ 0.1
窯業・土石製品工業	322.3	643.2	0.2	△ 0.1	その他製品工業	395.9	59.1	△ 0.1	0.0

注1) 石油・石炭製品工業は、東京都では採用していない。

2) 全国の輸送機械工業の指数は、東京都との比較のため「輸送機械工業（除、船舶・同機関、鉄道車両、航空機）」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

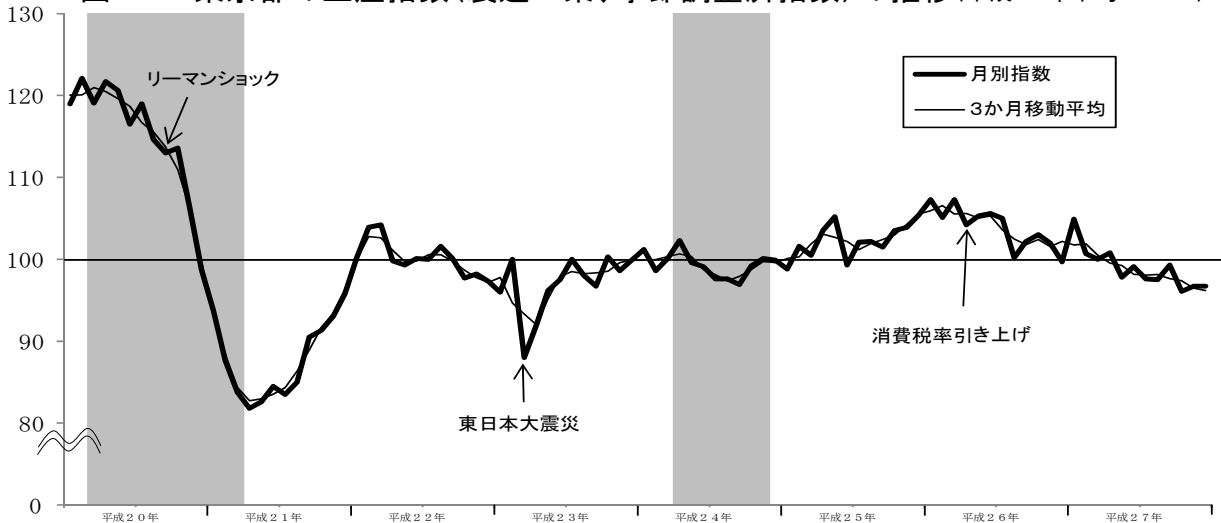
3) 全国のウェイトは、鉱工業全体から鉱業の分を除いており、各業種ごとの合計（＝製造工業）が10000にならない。

(2) 生産指数(季節調整済指数)の月別推移

トレンドをみるために、平成20年以降の生産指数(季節調整済指数)の移動平均(3月移動平均)を計算してみると、まず、平成20年1月から平成21年4月にかけて37.3ポイントという大幅な低下を示した。次に、平成21年4月から平成22年2月にかけて20.1ポイント上昇した後、平成22年2月から平成23年4月にかけて10.8ポイント低下した。

その後、平成23年4月から平成24年4月にかけて8.7ポイント上昇した後、平成24年4月から平成24年8月にかけて3.3ポイント低下した。そして、平成24年8月から平成26年2月にかけて9.2ポイント上昇した後、低下傾向にある。(図41、表37)

図41 東京都の生産指数(製造工業、季節調整済指数)の推移(平成22年平均=100.0)

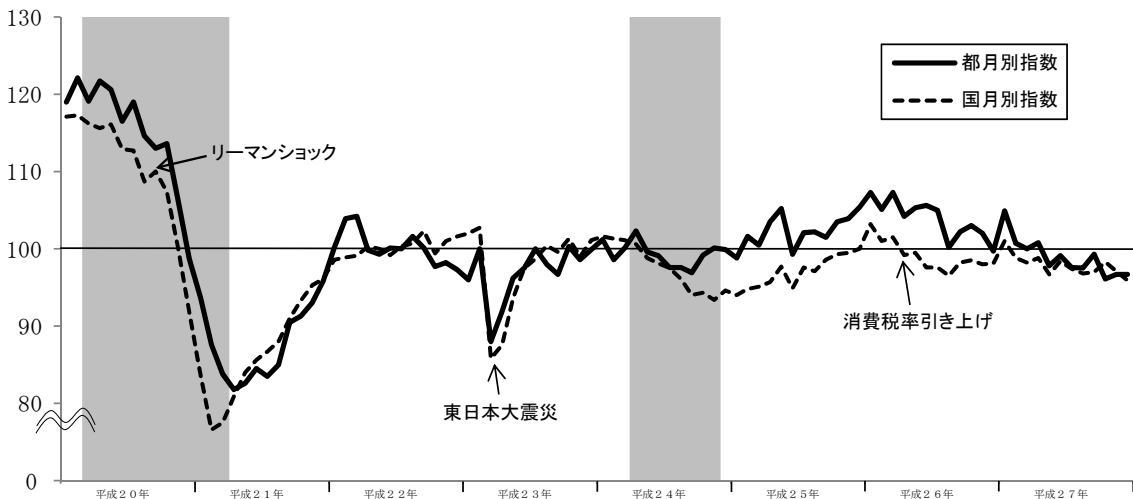


注) 網掛けは、景気後退局面(内閣府「景気基準日付」による。)を示す。

都と国の生産指数(季節調整済指数)を比較してみると、リーマンショック後の低下と回復、東日本大震災時の低下、平成24年の景気後退期での低下と消費税率引き上げ前までの上昇、その後の低下とほぼ同じ動きをしている。ただ、底とピークの時期をみると、リーマンショック後では、国は、平成21年2月が底で、都は、平成21年4月が底だったこと、その後の景気循環(第15循環^{注2)})の期間では、拡張局面において、国は、平成23年2月がピークで、都は、平成22年3月がピークだったこと、後退局面では、国は平成24年11月が底で、都は平成24年9月が底だったことなどの違いが見られた。

(図42、表37)

図42 東京都と全国生産指数(製造工業、季節調整済指数)の推移(平成22年平均=100.0)



注1) 網掛けは、景気後退局面(内閣府「景気基準日付」による。)を示す。

注2) 第15循環は、平成21年3月を谷、平成24年3月を山、平成24年11月を谷とする。

表37 東京都と全国の生産指数（製造工業、季節調整済指数）（平成22年平均＝100.0）

年 月	月別指数		3か月移動平均	年 月	月別指数		3か月移動平均
	東京都	全国	東京都		東京都	全国	東京都
平成				平成			
20年 1月	119.0	117.1	120.0	24年 1月	101.2	101.6	99.9
2月	122.1	117.3	120.1	2月	98.6	101.3	100.0
3月	119.1	116.2	121.0	3月	100.1	101.1	100.3
4月	121.7	115.6	120.5	4月	102.3	100.6	100.7
5月	120.6	116.1	119.6	5月	99.6	98.8	100.3
6月	116.5	112.9	118.7	6月	99.1	98.1	98.8
7月	119.0	112.7	116.7	7月	97.6	97.5	98.1
8月	114.6	108.7	115.5	8月	97.6	96.1	97.4
9月	113.0	110.0	113.7	9月	96.9	94.0	97.9
10月	113.6	107.4	111.0	10月	99.2	94.3	98.7
11月	106.3	100.1	106.2	11月	100.1	93.4	99.7
12月	98.7	91.8	99.6	12月	99.9	94.6	99.6
21年 1月	93.7	83.7	93.3	25年 1月	98.8	94.0	100.1
2月	87.6	76.6	88.4	2月	101.6	94.8	100.3
3月	83.8	77.5	84.4	3月	100.5	95.1	101.9
4月	81.8	80.9	82.7	4月	103.5	95.7	103.1
5月	82.6	84.0	83.0	5月	105.2	97.7	102.7
6月	84.5	85.6	83.5	6月	99.3	94.9	102.2
7月	83.5	86.7	84.3	7月	102.1	97.6	101.2
8月	85.0	88.0	86.3	8月	102.2	97.1	101.9
9月	90.5	91.0	88.9	9月	101.5	98.6	102.4
10月	91.3	93.3	91.6	10月	103.5	99.3	103.0
11月	93.0	95.3	93.4	11月	103.9	99.5	104.3
12月	95.8	96.1	96.3	12月	105.4	100.0	105.5
22年 1月	100.2	98.6	100.0	26年 1月	107.3	103.2	105.9
2月	103.9	98.9	102.8	2月	105.1	101.0	106.6
3月	104.2	99.1	102.6	3月	107.3	101.5	105.5
4月	99.8	100.3	101.1	4月	104.2	99.2	105.6
5月	99.3	100.0	99.7	5月	105.3	99.5	105.0
6月	100.1	99.2	99.8	6月	105.6	97.6	105.3
7月	100.0	100.3	100.6	7月	105.0	97.6	103.6
8月	101.6	100.7	100.6	8月	100.2	96.5	102.5
9月	100.1	102.3	99.8	9月	102.2	98.2	101.8
10月	97.7	99.4	98.7	10月	103.0	98.5	102.4
11月	98.2	101.0	97.7	11月	102.0	98.0	101.6
12月	97.3	101.6	97.2	12月	99.7	98.1	102.2
23年 1月	96.0	102.0	97.8	27年 1月	104.9	101.0	101.8
2月	100.0	102.7	94.7	2月	100.7	98.8	101.9
3月	88.0	85.8	93.3	3月	100.0	98.2	100.5
4月	91.9	87.6	92.0	4月	100.8	98.8	99.5
5月	96.2	93.6	95.2	5月	97.8	96.7	99.2
6月	97.5	97.5	97.9	6月	99.1	98.4	98.2
7月	100.0	98.7	98.5	7月	97.6	97.4	98.1
8月	98.0	100.4	98.2	8月	97.5	96.8	98.1
9月	96.7	99.6	98.3	9月	99.3	97.0	97.6
10月	100.3	101.3	98.5	10月	96.1	98.3	97.4
11月	98.6	99.0	99.6	11月	96.7	97.1	96.5
12月	99.9	101.1	99.9	12月	96.7	95.9	96.2